
独りよがり

紗沙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

独りよがり

【コード】

N2018E

【作者名】

紗沙

【あらすじ】

たった一人で悩む女の子の気持ちを書きました。話すような口調なのは、女の子が心の中で自分自身と語り合っているというようにしてみました。

(前書き)

初投稿ですので、お見苦しい点があったらすみません。

君の笑顔を思い出すたびに、私は一人沈んでいく。
君が笑うのはいつだってみんなと居るとき。

みんなに囲まれて、喋って…。

私に見せてくれる笑顔とは比べ物にならないほど輝いてる。
その笑顔を引き出したいから一緒に居るんだよ。
なのに君は、その笑顔を私には見せてくれないね。

どうして？

私と居ても気を使うだけ？

つまらない？

安心してゐるからなんて言わないで。
信頼してるからなんて言わないで。
素で居られるからなんて信じない。
「作り笑いしなくても、君なら大丈夫でしょ？」
そんなの君の思い違いだよ。

君は確かに、皆と居るときに笑ってた。
本当の笑顔で。

一緒に居れば分かるんだよ。
どれが本当で、どれが本当じゃないか。

みんなと一緒に居るのが楽しければ、ずっと居ればいい。
私は必要ないでしょ。

「必要だよ」

そんな言葉が欲しいんじゃないんだ。
優しく抱きしめてキスをして。

言葉じゃない。行動で示してよ。

言葉なんてもう信用できない。

君は平気で嘘をつくから。

「大好きだよ」

口癖なの？

【抱きしめる】

ムードに吞まれてるの？

疑う私が何より嫌い。

でも言われないと余計つらくなるの。

わがままなのはよく分かってる。

これ以上壊れる自分が嫌だから…

他の人を好きになる

「この人が好き」

自己催眠は思いの外かからない。

私はひとり

君が楽しそうにしてるのを夢見てまたくじけるの。

私は君を想うのに

君は何を想うの？

君の心に私は残れてる？

他の人で埋め尽くされて消えてるの？

今日もまた私はひとり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2018e/>

独りよがり

2010年12月11日01時08分発行